

令和7年度第1回

宗像市歴史的風致維持向上計画推進協議会

<第1号議案>

宗像市歴史的風致維持向上計画

進捗評価

令和8年2月19日（木）

宗像市役所南館 南201B会議室

**令和7年度進行管理・評価シート**  
**宗像市歴史的風致維持向上計画（平成30年3月26日認定）**  
（軽微な変更 令和4年4月1日）

**口進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の実施体制	.....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(都市計画法)	.....	2
2 重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(景観法)	.....	3
3 重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(屋外広告物法)	.....	4
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 史跡宗像神社整備事業(沖津宮・沖津宮遙拝所・中津宮・辺津宮)	.....	5
2 歴史的風致形成建造物等整備事業	.....	6
3 歴史的風致等景観整備事業	.....	7
4 道路美装化事業	.....	8
5 まちなみ環境整備事業	.....	9
6 無形民俗文化財等調査支援等事業	.....	10
7 歴史文化資産継承支援事業	.....	11
8 歴史文化基本構想策定事業	.....	12
9 歴史文化資産ガイダンス拠点整備事業	.....	13
10 歴史文化資産普及啓発事業	.....	14
11 観光拠点施設整備事業	.....	15
12 観光受入環境整備事業	.....	16
13 地域活性化支援事業	.....	17
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定	.....	18
2 文化財の修理事業、防災に関する事業	.....	19
3 文化財に関する普及・啓発の取組	.....	20
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 (報道等タイトル名)	.....	21
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 (住民の意識と観光振興)	.....	22
<b>口法定協議会等におけるコメントシート(様式2)</b>	.....	<b>23</b>

評価軸①-1  
組織体制

項目	評価対象年度	令和7年度
計画の実施体制		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
計画策定時に設置した「歴史的風致維持向上計画庁内検討委員会」を「宗像市歴史的風致維持向上計画庁内推進委員会」に改編し、行政内部における計画の進行管理及び連絡調整を行う。また、計画変更に関わる検討事項や事業の実施に係る懸案事項がある場合には、「宗像市歴史的風致維持向上計画推進協議会」に意見を求める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

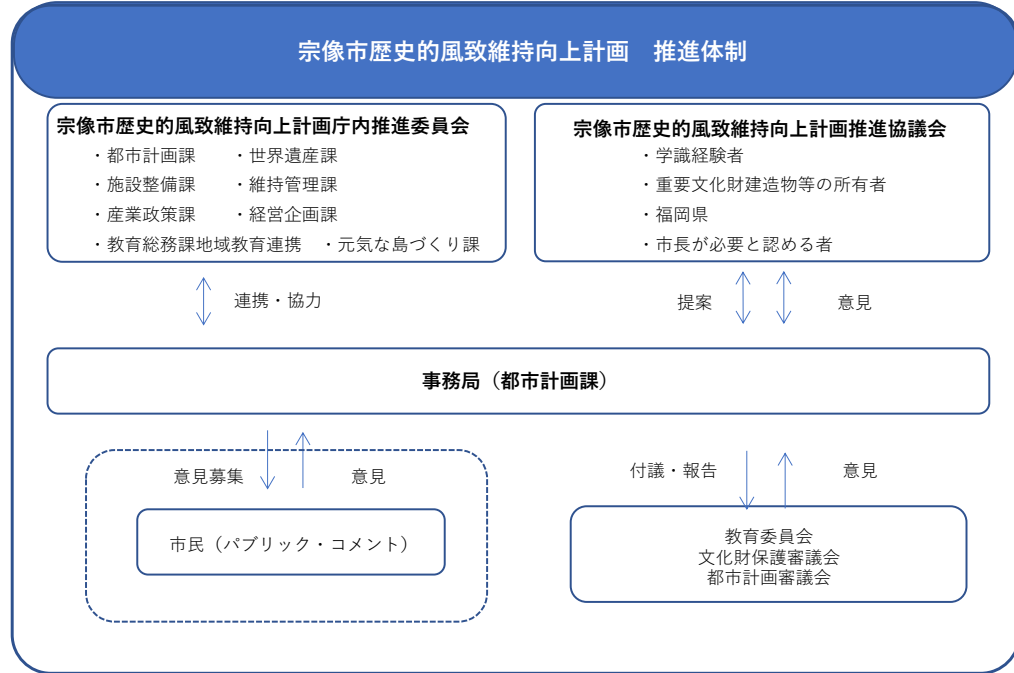
・宗像市歴史的風致維持向上計画庁内推進委員会を書面開催し、各事業の進捗管理及び連絡調整を行った。実施回数:1回  
・宗像市歴史的風致維持向上計画推進協議会を開催し、事業評価における意見聴取を行った。実施回数:1回

進捗状況 ※計画年次との対応  
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

◆推進体制



No.	委員名	選出区分	所属団体及び肩書き	任期	備考
1	黒瀬 重幸	学識経験者その他の市が必要と認め	福岡大学名誉教授	令和6年3月10日～令和8年3月9日	
2	大方 優子	学識経験者その他の市が必要と認め	九州産業大学地域共創学部観光学科教授	令和6年3月10日～令和8年3月9日	
3	土屋 潤	学識経験者その他の市が必要と認め	九州大学芸術工学研究院講師	令和6年3月10日～令和8年3月9日	
4	雲峽 貴寿	重要文化財建造物等の所有者	宗像大社権禰宣	令和6年3月10日～令和8年3月9日	
5	矢野 吉房	学識経験者その他の市が必要と認め	宗像市観光協会会長	令和6年3月10日～令和8年3月9日	
6	田中 久美子	学識経験者その他の市が必要と認め	福岡工業大学社会環境学部社会環境学科准教授	令和6年3月10日～令和8年3月9日	
7	升谷 智子	学識経験者その他の市が必要と認め	海の進むなかた館地域学委員の会委員	令和6年3月10日～令和8年3月9日	
8	園元 かをり	学識経験者その他の市が必要と認め	市民代表	令和6年3月10日～令和8年3月9日	
9	杉原 敏之	福岡県	福岡県教育庁教育総務部文化財保護課長技術補佐	令和7年4月1日～令和8年3月9日	
10	西 亮	福岡県	福岡県建築部都市部副理事兼都市計画課長	令和6年4月1日～令和8年3月9日	
11	井上 智史	オブザーバー	国土交通省九州地方整備局建設部計画管理課長	令和6年4月1日～令和8年3月9日	



宗像市歴史的風致維持向上計画推進協議会 令和8年2月19日開催

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(都市計画法)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 本市では、離島を除く市全域が都市計画区域であり、そのうち約17%にあたる1,876haが市街化区域、残りの9,114haが市街化調整区域である。3つの重点区域は全域が都市計画区域外又は市街化調整区域に位置している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・宗像大社地区においては、歴史資源を活かした観光機能と地域住民の生活文化を支える機能を維持・保全するため、平成25年に決定した地区計画に基づき、開発・建築行為等に対し、地区の特性に応じた適切な規制誘導を行った。(地区計画区域内の行為の届出件数:0件)  
 また、神湊地区においては、昨年度までに行った福岡県まちづくり専門家派遣制度による説明会を踏まえ、地区計画の導入を見据え、都市計画提案制度の活用に向けた地域との打合せや準備を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

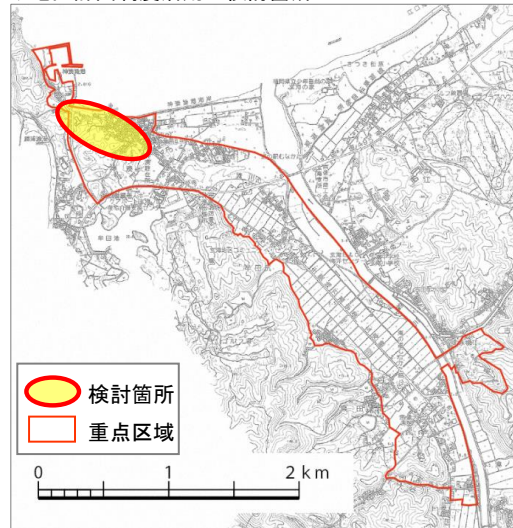
状況を示す写真や資料等

◆宗像大社地区地区計画の制限内容、区域図

名称	宗像大社地区地区計画
位置	宗像市田島及び深田の各一部
面積	約9.3ヘクタール
地区計画の目標	本地区は、宗像市の北西部に位置し、宗像大社を核として魅力的な歴史資源を活かした観光機能と地域住民の生活文化を支える機能が融合した地区である。  宗像市都市計画マスタープランでは、「魅力的な歴史資源を核とする地域の中心」に位置づけられ、世界的にも貴重な歴史資源を守り育て、またこれらの資産を輝かせ、悠久の歴史を醸し出すようなまちづくりを進める。  そこで本計画は、宗像大社などの歴史資源を活かした観光機能と地域住民の生活文化を支える機能を将来にわたって維持・保全するとともに、周辺地域と調和のとれた文化交流拠点としての土地利用を図る。
区域の整備・開発及び保全の方針	【土地利用の方針】 宗像大社を中心に、歴史と文化を活かした交流を促進する施設や歴史資源を活かした観光施設を誘導する。  【建築物等の整備の方針】 土地利用の方針に基づき、建築物等の用途の制限、建築物の容積率及び建ぺい率及び高さの最高限度、壁面の位置等の制限、垣又はさくの構造の制限を定め、豊かな自然環境に囲まれ昔ながらの景観が守られたゆとりある良好な拠点の形成を図る。



◆地区計画制度活用の検討箇所



福岡県まちづくり専門家派遣制度

良好なまちなみの形成や美しいまちづくりを行おうとする自主的な地域住民団体等に対して、各地域で抱えているまちづくりに関する諸問題・課題に応じて、「まちづくり専門家」をまちづくり活動支援のために派遣を行う制度



まちづくり専門家派遣制度の活用(住民説明会の様子)  
 令和5年度3回、令和6年度3回実施  
 ⇒都市計画提案に向けて調整中

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	

重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(景観法)

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容 「宗像市景観計画」において、エリアや軸、景観重点区域それぞれにおける景観形成の方針や、建築・建設行為、開発行為等を行う際の景観形成のルールを定め、景観誘導を図っている。景観重点区域は、各構成資産周辺の景観保全・形成、大島御嶽山や海上からの眺望範囲の観点から、景観重点区Ⅰ～Ⅲの3つの区域に区分している。なお、本計画の重点区域は全て景観重点区域に含まれている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・2014年(H26)策定の「宗像市景観計画」に基づき、一定の建築行為等に対し、良好な景観を守るために規制誘導を行った。事前協議・届出実績：総数 21件のうち、景観重点区域 15件(重点区域 7件)
- ・景観重点区域内の行為については、積極的に景観アドバイザーの意見聴取を行い、指導を行った。相談件数：18件(重点区域 8件)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

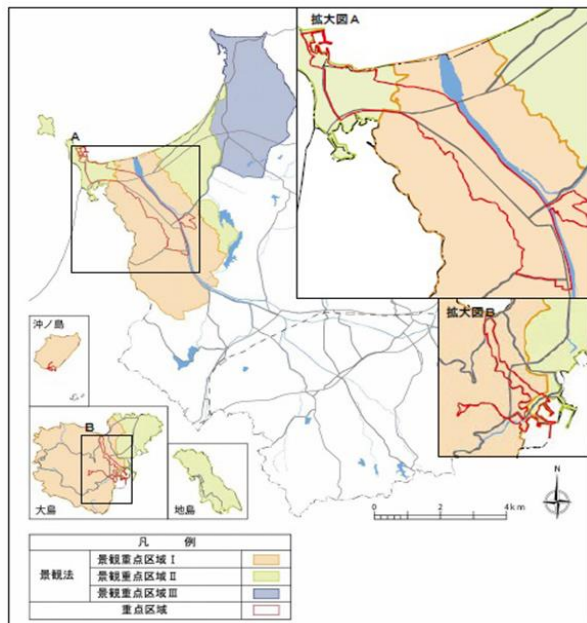
- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

景観重点区域にある既存不適格物件等については、建替え時の修景等の指導を行い、良好な景観形成に向けて、引き続き制度の周知を図っていく。

状況を示す写真や資料等

◆景観計画における景観重点区域

◆景観重点区域内の届出対象と行為の制限の一部



① 建築物

対象	景観形成基準		
	景観重点区域Ⅰ	景観重点区域Ⅱ	景観重点区域Ⅲ
屋根	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 歴史的風土や周辺の景観との調和を図り、景観の連続性及び一体感を保つため、切妻、入母屋、寄棟等の勾配屋根(3/10～6/10の勾配)とする。</li> <li>● 屋根素材は、瓦葺などの伝統素材を使用することを推奨し、他の素材を使用する場合は色彩基準(※1)に基づくものとする。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 歴史的風土や周辺の景観と調和した色彩とし、基調色は色彩基準に基づくものとする。</li> </ul>		
外観	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 壁面線については、周囲の建築物と調和させる。</li> <li>● 公共空間に面する外壁は、板張、漆喰、土壁等の自然素材や伝統素材を推奨し、他の素材を用いる場合は、色彩が伝統素材に近いもの、または質感が自然素材に近いものを使用する。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 歴史的風土や周辺の景観と調和した色彩とし、基調色は色彩基準に基づくものとする。</li> <li>● 従属色は外壁各面の面積の1/5以内、アクセント色は外壁各面の面積の1/20以内とし、色彩基準に基づくものとする。</li> <li>● ただし、着色していない木材・レンガ・コンクリート・ガラス等の材料によって仕上げられている部分は、この限りではない。</li> </ul>		
位置・配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 視点場(※2)からの眺望を阻害しない位置・配置とする。</li> <li>● 山なみの稜線や松原のスカイラインを阻害しないように、地形に配慮した位置・配置とする。</li> </ul>		
建築設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 空調室外機等の屋外に設ける建築設備は、公共空間から目立たない場所に配置し、やむを得ず設置する場合は公共空間から見えないように隠すか、色彩基準に基づき修景する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 空調室外機等の屋外に設ける建築設備は、公共空間から目立たない位置への配置に配慮する。</li> </ul>
高さの最高限度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高さは、10m以下とする。</li> <li>● 視点場からの眺望を阻害しない高さとする。</li> <li>● 視点場からの眺望の背景となる山なみの稜線や松原のスカイラインを超えないように配慮する。</li> <li>● 周囲の集落景観や田園景観と調和し、突出しない高さとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高さは、13m以下とする。</li> <li>● 視点場からの眺望を阻害しない高さとする。</li> <li>● 視点場からの眺望の背景となる山なみの稜線や松原のスカイラインを超えないように配慮する。</li> <li>● 周囲の集落景観や田園景観と調和し、突出しない高さとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 視点場から見て、周囲の景観から突出しない高さとする。</li> <li>● 視点場からの眺望の背景となる山なみの稜線や松原のスカイラインを超えないように配慮する。</li> </ul>

評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(屋外広告物法)	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容  
 良好な景観をより積極的に保全・形成し、風致を維持するとともに、公衆に対する危害を防止するため、屋外広告物法に基づき、屋外広告物条例を施行している。  
 規制内容については、景観計画の内容や地域の特性を踏まえ、3つの特別地域と1つの普通地域に区分し、地域ごとの基準を定めている。なお、本計画の重点区域は、全て特別区域に含まれている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

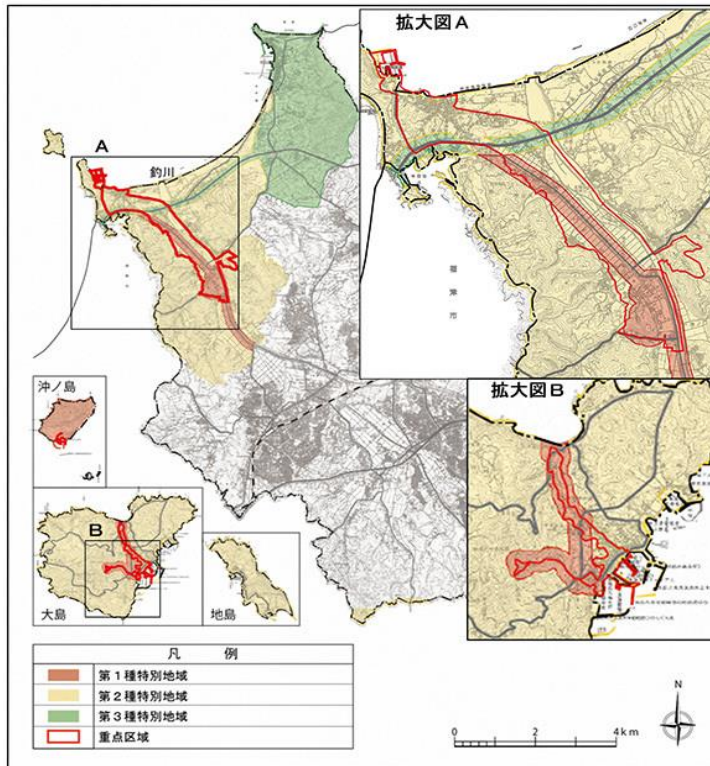
・2015年(H27)施行の「宗像市屋外広告物条例」に基づき、屋外広告物の設置に対し許可申請の手続きを実施することで、本市の歴史的景観等に配慮した規模・数量・色彩などへと誘導を行った。許可申請件数:177件(うち特別地域及び重点区域3件)  
 ・違反している簡易広告物について、市内パトロール及び一斉除却を実施した。(除却数:0件うち特別地域及0件、重点区域 での除却実績なし。)  
 ・特別地域内にある既存不適格広告物について、広告主等に対して指導を行った。(指導実績:1件うち重点区域1件)

進捗状況 ※計画年次との対応

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) 特別地域内にある既存不適格広告物については、広告主等に対して指導を実施し、良好な景観形成に向け、さらなる誘導を図っていく。 また、広告主等への指導に加え、市広報を活用した幅広い周知や、市内パトロール調査の実施等による啓発活動を継続し、屋外広告物に対する理解促進を図っていく。
--	--

状況を示す写真や資料等

◆屋外広告物条例による地域区分



◆基準の概要(共通基準)

項目	基準
広告物の規模	①広告物の面積、高さ及び数量は、必要最小限とすること。 ②複数の広告物を無秩序に設置することは避け、できる限り集約化すること。
周辺との調和	③広告物の形態意匠は、地域特性や周辺環境との調和を図ること。 ④建築物その他の工作物等に附属する広告物の形態意匠は、当該建築物その他の工作物等との調和を図ること。
色彩や光の使い方	⑤広告物の色彩の基調色は、周辺環境及び建築物その他の工作物等と類似又は融和するものとする。
他法令の遵守	⑥道路法、建築基準法、自然公園法等条例以外の法令の適用を受ける広告物にあっては、これらの法令の規定に適合すること。

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
史跡宗像神社整備事業（沖津宮・沖津宮遙拝所・中津宮・辺津宮）		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金、福岡県文化財保護事業補助金、市単独		
計画に記載している内容	「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の構成資産である重要文化財宗像大社辺津宮本殿等の建造物の修理・復原や修景、また史跡宗像神社境内の参道、広場、法面等の修景や整備を行うとともに、防火、防犯、防災設備や解説板、登録銘板等の設置を行うことにより周辺環境の整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖ノ島の定期モニタリングを10回、中津宮と辺津宮のモニタリングを各1回行い、祭祀遺跡や周辺環境の調査等を行った。</li> <li>・国史跡宗像神社境内のうち、辺津宮本殿・拝殿の周囲に位置する摂末社について、所有者が保存修理を行い、国・県・市が事業費の一部を補助した。棟数N=3棟</li> <li>・宗像大社辺津宮の周辺環境整備事業として、所有者が参拝者用駐車場の整備を行った。A=約15,000㎡</li> <li>・令和5年4月の降雨の影響により転倒した史跡宗像神社境内(御嶽神社参道)の転倒防止柵等について、転倒防止柵(L=168m)や擬木階段(N=60段)の新設を行った。</li> </ul>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
◆宗像大社辺津宮参拝者用駐車場整備事業			
 施工前	➔	 施工後	
◆史跡宗像神社境内辺津宮摂末社保存修理事業			
 保存修理前	➔	 保存修理後	
◆史跡宗像神社境内(御嶽神社参道)整備事業			
 転倒した転落防止柵	➔	 施工後	

評価軸③-2 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
歴史的風致形成建造物等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独		
計画に記載している内容	歴史的風致を形成する建造物等の整備のため、鎮国寺の参道整備や八所宮の土塀や石垣等の復原や修景、宗像大社辺津宮神門の修景など、歴史的風致形成建造物等の復原や修景を行い、歴史的風致形成建造物等の周辺の環境整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・県指定天然記念物である八所宮の社叢が育成不良を起こし一部腐朽・倒木が発生しているため、育成を阻害するユズリハ等周辺の雑木の除去等を行った。A=60,000㎡ ・令和7年8月に発生した豪雨の影響により、織幡神社境内に位置する県指定天然記念物であるイヌマキ天然林の法面が崩落した。そのため災害復旧事業として令和7年度は測量設計業務を行った。A=約3,200㎡			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
◆歴史的風致形成建造物等の周辺の環境整備に関する事業			
イヌマキ天然林法面災害復旧事業			
 被災直後		 現地協議	
八所宮社叢整備事業			
 施工前		 作業風景	



評価軸③-4  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
道路美化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和9年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)、市単独

計画に記載している内容 歴史的風致の維持向上の一環として、良好な景観を形成するため、主に鐘崎や神湊、大島等の市道の美化化を実施し、歴史的風致区域の景観整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・深田地区において、関係機関と協議を行いながら交通安全施設の修景整備を実施した。  
ガードレールの更新 L=5m

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

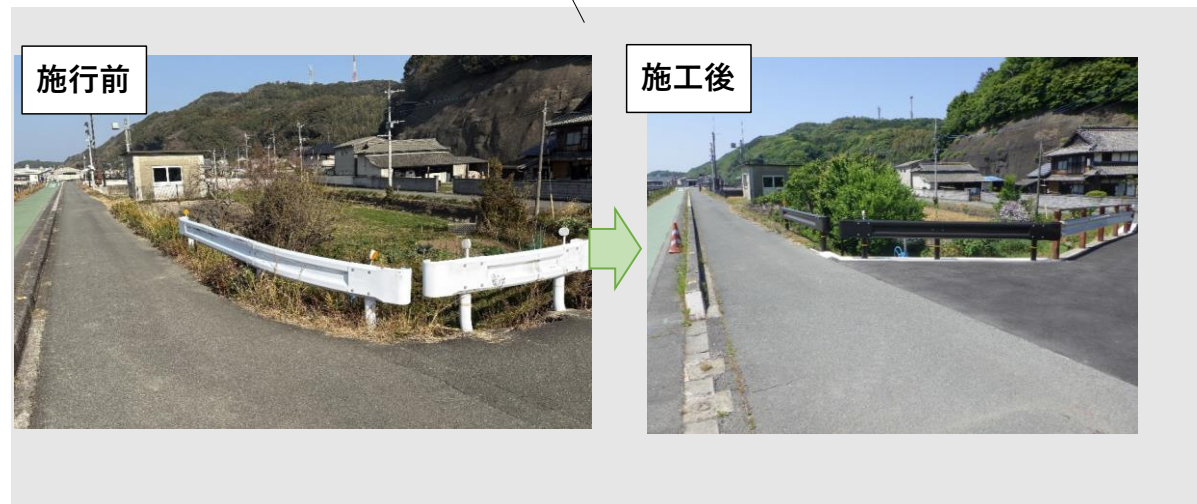
状況を示す写真や資料等

◆景観に配慮した交通安全施設の整備更新



**深田地区  
ガードレールの更新**

景観に配慮した色  
(ダークブラウン)で設置した。



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
まちなみ環境整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和9年度

支援事業名 市単独

計画に記載している内容 田島地区や大島地区等、歴史的なまちなみの維持や再生を図るため、建築物や工作物の外観修景等を実施して、歴史的風致の範囲を中心にまちなみ環境の整備を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

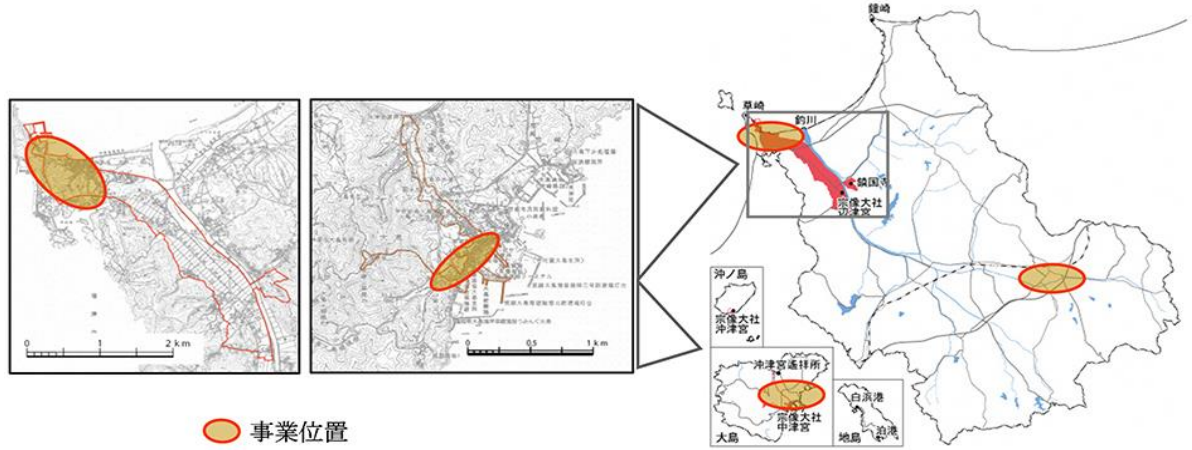
建築物や工作物の新築及び改築等に対して、景観計画に基づき適切な助言・指導を行い、歴史的風致や周辺の景観との調和した形態意匠とすることで、歴史的風致の構成要素である良好な周辺環境の整備に寄与した。  
 実施件数:15件

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

◆景観に配慮したまちなみ環境の整備



● 事業位置



建築物の外壁塗替えの際、景観色へ



- 協議内容
- 住宅の色彩変更・・・景観に配慮した色（ダークグレー）で外壁・屋根の塗装塗替え
  - 住宅の新築・・・景観に配慮した屋根形状（切妻）、色（グレー系、ブラック系）にて施行
  - 蓄電池の新設・・・景観に配慮した色（グレー系）で設置

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度
		現在の状況	
無形民俗文化財等調査支援等事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独		
計画に記載している内容	地域の歴史文化資産を後世に引き継ぐため、未指定文化財を含めた民俗文化財の調査や記録、情報発信を行い、多くの人にその価値を知ってもらうための啓発活動等の支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・「宗像市世界遺産市民の会(地域コミュニティや各種団体:22団体で構成)」において、宗像大社秋季大祭でのみあれ祭り陸上神幸、「神迎え灯籠の道」、清掃活動等とあわせて、市職員のガイド付き各遺跡巡り研修を実施した。 ・「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会、宗像市世界遺産市民の会、ボランティア、民間企業等で、海洋ゴミの回収や海洋プラスチックの活用等の環境保全に取り組んだ。「鐘崎さつき松原清掃イベント」参加人数:56人(令和7年11月15日) ・地域伝統行事の実施状況を把握するため、継続して田熊山笠、八所宮御神幸祭の調査を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今年度は民間企業による支援事業等の申請が不採択となり、昨年度のような大型商業施設内での啓発活動等を行うことができなかった。今後は不採択という事態も見据えた情報発信・啓発活動等のあり方を検討する必要がある。		

状況を示す写真や資料等

◆啓発に関する事業



神迎え灯籠の道



鐘崎さつき松原清掃イベント(漂着ごみの回収)

◆調査に関する事業



田熊山笠



八所宮御神幸祭(練習の様子)

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
歴史文化資産継承支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	文化芸術振興費補助金、市単独		
計画に記載している内容	民俗文化財に関する市民活動等を支援し、文化財の保存・継承及び地域の活性化を促進する。特に、民俗文化財に関する担い手や後継者を確保し、伝承の支援を行う。また、伝統的な技術や技法を保持する者と、そのもとで技術や技法を修得し継承しようとする者に対する技術伝承にかかる活動費や地域固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動継承に対する支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・地域固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動継承を目的とし、海の道むなかた館において、地域の技術者を招き、正月用の注連飾の体験学習会をおこなった。(参加人数＝注連飾づくり19人) ・宗像市文化財保護事業補助金を活用し、実施団体が各伝統行事で使用する備品及び祭具等の新調を行った(棗田神社秋季例祭衣装整備事業、八所宮神幸祭用具等整備事業)。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今年度は民間企業の支援事業等の申請が不採択となったが、市の文化財保護事業補助金を活用し各伝統行事で使用する備品及び祭具等の新調を行った。今後は不採択という事態も見据えた支援のあり方を検討する必要がある。		
状況を示す写真や資料等			

◆民俗文化財に関する担い手や後継者確保に関する事業



注連飾づくり体験学習



八所宮神幸祭用具等整備事業 (篠笛新調)



棗田神社秋季例祭衣装整備事業 (白張装束新調)

評価軸③-8  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
歴史文化基本構想策定事業		現在の状況 ■実施済 □実施中 □未着手

事業期間 平成30年度～令和5年度

支援事業名 文化芸術振興費補助金、市単独

計画に記載している内容  
未指定の建造物や祭り・習俗等の無形の民俗文化財、検証が行われていない埋蔵文化財について、学術的調査を実施し、歴史的史実の把握、価値付けに努め、後世に引き継ぐための問題点を明らかにするなど、その調査結果を総合的に整理し、全容解明に努める。また、調査によって価値が判明した歴史文化資産については、新たな文化財としての指定など、確実な保存と積極的な活用を進めるため、「宗像市文化財保存活用地域計画」を作成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

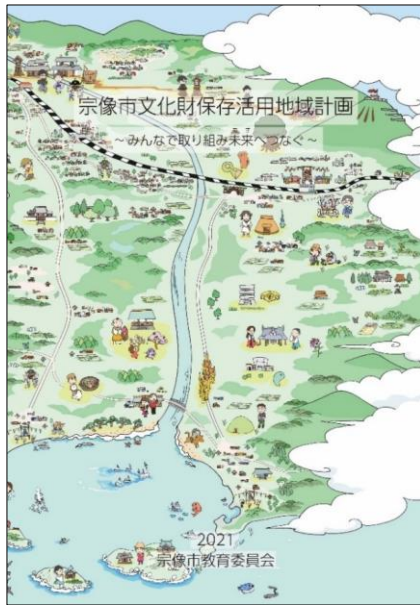
・令和元年度から作成を進めてきた「宗像市文化財保存活用地域計画」(文化財保護法第183条の3に基づく文化財保存活用地域計画)を令和3年7月に作成し、計画を確実に実施するため、進捗管理や評価の方法について文化財保存活用地域計画協議会に意見を求めた。開催数=1回

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している  
□計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

◆文化財の保存と活用に関する計画の作成



文化財保存活用地域計画

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度
歴史文化資源ガイダンス拠点整備事業			現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独		
計画に記載している内容	歴史文化資源の価値が失われないように保存するため、宗像大社辺津宮に隣接する敷地(約34,000平方メートル)に国宝約8万点を展示・収蔵する文化施設をはじめ、中核来訪者施設(世界遺産センター)、文化財保存管理及び研究施設、図書館分館など、延べ面積約6,000平方メートルの施設整備を行い、歴史文化資源の啓発を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・ガイダンス機能を有する「海の道むなかた館」において、映像やレプリカを活用した説明、公開講座やイベント開催等により、歴史文化に対する啓発及び理解促進を図った。 ・令和7年度文化観光事業として、「海の道むなかた館」の展示を整理・更新し、多様な来訪者に世界遺産の価値を分かりやすく伝えるガイダンス施設とするため、令和7年度にエントランスを中心とした8ヶ所の展示内容の更新・追加を行った。(見学導線の改善、各解説パネルの更新、多言語対応タッチパネルの設置等)			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	海の道むなかた館館内展示更新に向けて宗像市によるプロジェクトチームを立ち上げ、文化庁及び伴走支援コーチの指導のもと、海の道むなかた館の展示に関する基本方針を策定した。また、国宝約8万点を展示・収蔵している宗像大社神宝館の老朽化も進んでいるため課題とし、今後検討を行っていく。令和8年度以降は基本方針をベースに館内常設展示の改善を継続していく。		

状況を示す写真や資料等

◆海の道むなかた館館内展示整理・更新(令和7年度文化観光事業)



施工前

施工後

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
歴史文化資産普及啓発事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和9年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)、市単独

計画に記載している内容  
市内の歴史文化資産の普及・啓発のため、各種啓発事業を行うほか、子ども向けの歴史学習教室を開催し、小学校低学年から、本市の歴史文化資産や歴史まちづくりを理解する機会を提供する。さらに、小中学校の地域学習を進め、地域の産業や消費生活の様子、諸活動や人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて記載し、地域に対する誇りと愛情をもち、地域の一員としての自覚を高める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 世界遺産学習を核としたふるさと学習を実施
  - ・世界遺産学習の副読本を作成し、全市立小中学校で世界遺産学習を実施した。  
副読本:平成29年度 9,000部、平成30年度・令和元年度・令和2年度 1,100部  
令和3年度からデータを教職員用・学習者用クラウドに格納し、学習者用タブレットで閲覧・活用。
  - ・世界遺産学習に対する支援を行い、本市にある貴重な文化財に触れ合うとともに地域に誇りを感じてもらう機会を設けた。  
対象:市内小・義務教育学校(社会科見学等助成実施校数:7校)
  - ・ふるさと学習に係る海の道むなかた館の施設利用予約及び行政職員によるゲストティーチャー出前授業等のメニュー「ふるさとふるふる講座」の実施。  
出前授業メニュー:14種類、施設対応メニュー:5種類 実施回数:14回 受講者数:976人
- 歴史文化遺産の普及啓発
  - ・九州歴史まちづくりブランド推進会のInstagramで記事を掲載した。(Instagramへの掲載:4回)

進捗状況 ※計画年度との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

◆世界遺産学習を核としたふるさと学習



デジタルブック「ふるさとと宗像BOOK」



世界遺産学習の様子 (赤間西小学校)



◆歴史文化遺産の普及啓発



九州歴史まちづくりブランド推進会のInstagramへの掲載

評価軸③-11 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
観光拠点施設整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成29年度～令和9年度		
支援事業名	市単独		
計画に記載している内容	本事業は、歴史文化資産の啓発と観光振興のため、宗像大社等の歴史文化資源と連携を図る特化施設として位置付けている、むなかた観光物産館の整備を実施し、歴史文化資産と観光拠点を活かした地域活性化を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>■地域活性化のための観光拠点として整備した拡張地において、各種イベント実施</p> <p>【観光ステーションむなたびラボ1周年記念イベントを開催】                  9月13日に道の駅むなかた南館の観光ステーションむなたびラボの1周年記念イベントを開催。1周年の感謝の意味合いを込めて、地元の方が楽しめる空間としての賑わいづくりと、観光ステーションの更なる周知を図った。</p> <p>【CAMPINGCARSHOW&amp;OUTDOOR EVENTを開催】                  10月4日、5日にキャンピングカー&amp;アウトドアイベント実行委員会と連携してイベントを開催。賑わいの創出と合わせて、道の駅むなかたに設置しているRVパークの活用拡大を図った。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p>◆観光ステーションむなたびラボ1周年記念イベント</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p>観光ステーション む・な・た・び・ラ・ボ MUNAKATA TOURIST INFORMATION LAB. 一周年イベント企画 今年最後の夏祭り</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>企画内容</p> <p>開催日：2025年9月13日 土曜日 10:00~16:00                  場所：観光ステーションむなたびラボ(屋内外)                  内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元事業者の出店(3~5店舗)</li> <li>・キッチンカー出店(2台)※一番牛串とほりにしコラ販売</li> <li>・むなたびラボ出店(ヨーヨー釣り、型抜き、飲料販売)</li> <li>・大抽選会(宗像市内事業者協力による)</li> <li>・テンちゃん来場による記念撮影</li> <li>・テンちゃんグッズ特別ガチャ</li> <li>・ひなてつNゲージ拡大版</li> <li>・来場者に市内事業者やイベントのチラシ配布</li> </ul>  </div> </div>			
<p>◆CAMPINGCARSHOW &amp; OUTDOOR EVENT</p> 			

評価軸③-12 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
観光受入環境整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和9年度

支援事業名 市単独

計画に記載している内容  
 本市の歴史文化資産の魅力、伝統的な活動、まちなみなどについて、観光客等に同行して案内する観光ガイドを専門の養成講座の開催によって養成する。また、歴史文化資産の周辺など来訪者が多い場所において、歴史文化資産の紹介や観光ルート等に関する案内板の新設・改修・修繕を行う。案内板の整備にあたっては、多言語化、通信機器への対応について、ICTの活用を踏まえた検討を行う。歴史文化資産の豊富なまちなかの回遊性を向上させ、市民や来訪者が歴史的風致を感じながら安心して快適に散策できる環境を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・観光ガイドの養成講座を実施した。  
 受講者数: 令和7年度: 11人  
 養成講座開催回数: 7回

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない  
 バスツアーの増加等により観光ガイドの活動機会が増加しており、観光ガイドの人員確保及びスキルアップが必要になる。また、新たな担い手の育成として、観光ガイド養成講座を引き続き実施し観光ガイドの確保に努めていく。

状況を示す写真や資料等

◆観光ガイドの養成講座

観光ガイド養成講座(第19期)講座カリキュラム

宗像の世界遺産を中心に歴史と文化について経験豊富な講師陣のもとで学びます。



5月17日(土) 第1回: 宗像の歴史(通史)を学ぶ。 場所: むなかた館	9:30~10:00/開講式 10:00~16:00/座学「宗像の歴史(通史)」 ●講師=世界遺産課
6月14日(土) 第2回: 大島及び新原奴山古墳群を学ぶ。 場所: 大島及び新原奴山古墳群	8:30~16:00(渡船の運航時刻により調整あり) / 大島の研修(宗像大社中津宮、遙拝所、御旗山、大島交流館)と新原奴山古墳群の研修 ●講師=世界遺産課
6月28日(土) 第3回: 宗像大社の信仰と歴史を学ぶ。 場所: 宗像大社	9:30~12:00座学「宗像大社の信仰と歴史」 13:00~14:30/宗像大社中津宮境内の研修 ●講師=宗像大社神職 14:30~16:00/神宝館での研修 ●講師=宗像大社文化財管理局学芸員
7月12日(土) 第4回: 鎮国寺を学ぶ。 場所: 鎮国寺	9:30~12:00/鎮国寺の境内研修 13:00~16:00/座学「鎮国寺の信仰と歴史を学ぶ」 ●講師=別格本山鎮国寺住職
7月19日(土) 第5回: 宗像の文化財を学ぶ。 場所: いせきんぐ ※午後はバスで現地見学	9:30~12:00/座学「宗像の文化財」 13:00~16:00/座学「宗像の文化財」 ●講師=世界遺産課
8月23日(土) 第6回: 田原石畑遺跡の意義と史跡整備を学ぶ。 場所: いせきんぐ むなかた館展示室	9:30~12:00/座学「田原石畑遺跡の意義と史跡整備を学ぶ」 ●講師=世界遺産課 13:00~14:30/むなかた館の展示物の解説 ●講師=むなかた館地域学芸員 14:30~16:00/先導ガイドの実地見学 ●講師=宗像歴史観光ボランティアの会
9月6日(土) 第7回: 観光ガイドを学ぶ。 場所: むなかた館	9:30~12:00/座学「ガイドの基本と心得を学ぶ」 ●講師=北九州観光案内ボランティアの会 13:00~13:30/修了式 13:40~16:00/観光ボランティアの会入会案内

※諸般の事情により、本講座の内容を変更、延期・中止する場合があります。

評価軸③-13 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
地域活性化支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～令和9年度

支援事業名 市単独

計画に記載している内容 良好な景観形成の推進や地域活性化の一環として、赤間宿通り等の観光拠点に新規出店を行う者に対して支援を実施する。また、地元まちづくり団体等が実施する活動を支援し、地元と行政が一体となって地域活性化を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・赤間地区コミュニティ運営協議会主催の元、赤間宿まつりが令和8年2月21日と2月22日に開催され、赤馬館や赤間宿商店組合をはじめとした通りの店舗や事業者などが協力し赤間宿通りに賑わいをもたらした。  
 ・赤間宿通りの事業者同士の組織である「赤間宿商店組合」が主催するイベントが開催されており、赤間宿通りににぎわいをもたらすイベントとして定着してきている。(赤間宿kid's縁日:令和7年10月5日)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

古民家や赤馬館、国登録有形文化財の勝屋酒造といった地域資源を生かしながら、新旧の店舗が連携した賑わいづくりに取り組む。

状況を示す写真や資料等

◆赤間宿まつり



◆赤間宿商店組合によるイベント



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	本市に存在する指定・未指定の有形文化財(建造物)及び無形民俗文化財について、その実態を把握する取組みを進めるとともに、保存・活用の方策を講じる他、重要なものについては文化財として新たに指定する等により、文化財の保護を図る。さらに、今後策定される計画とも整合をとりながら進めていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・稲元八幡宮百手祭(未指定文化財)、稲元八幡宮川祭り(未指定文化財)、池田区畑の金比羅参り(未指定文化財)、棗田神社秋季例祭(未指定文化財)の実施状況を把握するため、現地調査を実施し、保存・活用に関する課題など、地域住民と意見交換を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施団体の共通課題である担い手や運営費用不足に対する解決策として、新たな担い手の創出や運営費用の調達を実施地域以外から広く募る等の検討が必要があるが、地域性や行事の特殊性を考慮し、実施団体の意向を確認しつつ、適切な助言や指導を実施していく。		
状況を示す写真や資料等			

◆無形民俗文化財の実態を把握する取組み



稲元八幡宮百手祭



稲元八幡宮川祭り



池田区畑の金比羅参り



棗田神社秋季例祭

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度
			現在の状況
文化財の修理事業、防災・防犯に関する事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	文化財は、経年劣化や災害等の外的要因により損壊し、損壊の進行による滅失をまねく恐れがあることから、日頃の維持管理を含めた予防対策と、損壊した場合の適切な修理が重要である。 文化財の修理は、歴史の真正性を担保するため、過去の改変履歴や調査記録などの活用と、新たな調査研究に基づき実施することを基本とする。 文化財については、自然災害により損壊、滅失する恐れがあることから、被災リスクの軽減を図ることが求められる。滅失のリスクが高い火災は、火災が発生しないよう予防対策の徹底と、火災が発生した際に迅速に対応できるよう日頃からの防災教育・訓練に取り組む。予防対策は、自動火災報知器や消火設備など、文化財を保存する上で必要と考えられる防火設備を設置する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・文化財防火デーに合わせ宗像地区消防本部と合同で市内指定文化財の防火査察を実施し、宗像大社辻津宮において、文化財防ぎょ訓練を実施した。 ・指定文化財所有者が修理・防災事業を実施し、宗像市文化財補助金交付要綱に基づき事業費の一部を支援した。 修理・修復事業：史跡 宗像神社境内 榎末社保存修理、国宝 福岡県宗像大社沖津宮祭祀遺跡出土品 保存修理 防災事業：国重要文化財 宗像大社辻津宮本殿・拝殿他 防災設備保守点検(防犯カメラ・防犯センサー含む) 国重要文化財 鎮国寺木造 不動明王立像 防災設備保守点検 ・宗像大社中津宮の防災設備について、各種設備の老朽化が著しく有事の際の消火活動に支障をきたしていることから、消火設備整備等の防災対策事業を実施することとした。令和7年度は実施設計を行った。 ・宗像地区消防本部及び宗像市消防団主体のブラインド訓練による中継、消防活動が安延山承福禅寺にて行われた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財の防災に関する事業として、昨年度から継続して消防組織主体のブラインド訓練が行われた。今年度は安延山承福禅寺での実施であり、文化財所有者や地域住民の防災意識向上のため他の文化財も視野に入れたブラインド訓練の実施も継続していく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			

◆文化財の防災に関する事業



防火査察



文化財防ぎょ訓練(宗像大社)



ブラインド訓練(承福禅寺)



宗像大社中津宮防災設備整備事業

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
文化財に関する普及・啓発の取組		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 市民や来訪者に対して本市の文化財に関する情報や学習・体験機会の提供に努めながら、意識の啓発を図る。また、地域における文化財の維持管理などを行う組織・団体の育成に取り組むとともに、市内に残る民俗芸能や伝統行事などの担い手の確保・育成に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・文化財に関する普及・啓発の取組として「海の道むなかた館」を中心に社会科見学等の受け入れや啓発イベント、講座を実施した。主な内容は以下のとおり。  
 市内小中学校等社会科見学:5校、213人  
 体験学習参加人数:1,222人  
 世界遺産検定:上級検定受講者:受検者数:27人(合格者:8人)(初級検定はインターネットで随時受検可)  
 出前講座(ルックルック講座・ふるさとふるる講座):19回(参加人数:1,012人)  
 世界遺産公開講座 計5回(会場:海の道むなかた館 参加人数:218人)  
 特別展:宗像市戦後80年記念事業特別展 戦争と故郷の記憶 郷土部隊と出征兵士の行方  
 ・世界遺産の保存・活用に関する取り組みは「いい遺産プロジェクト」として全国各地の関係自治体・団体に対して、連携事業の実施を呼びかけた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

◆特別展：戦争と故郷の記憶 郷土部隊と出征兵士の行方



◆いいさんまつり (事業チラシ)



◆ムナカタ古代フェス (事業チラシ)



◆世界遺産公開講座 (事業チラシ)



## 評価軸⑤-1

## 効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	
	年月日	令和7年度
沖ノ島の自然、尊さを一冊に	令和7年4月5日	朝日新聞
宗像の沖ノ島「神坐す」	令和7年4月13日	西日本新聞
道の駅むなかたで障害児が職業体験	令和7年5月14日	毎日新聞
国内外クラシック名車集結 クラシックカー公道快走 宗像大社を発着 国内外の往年の名車 宗像大社に	令和7年5月22日 令和7年5月24日 令和7年5月26日	毎日新聞 朝日新聞 読売新聞
ブルーカーボン推進へ連携宗像市など産官学22機関	令和7年6月24日	読売新聞
地島でイモ栽培広がり着々半世紀途絶え再開5年目	令和7年6月27日	読売新聞
大島七夕まつり	令和7年8月7日	毎日新聞
宗像中心に累計雨量600ミリ超す 宗像大社中津宮の参道崩れる 九州大雨死者3人に 宗像大社の欄干崩れる 大島・中津宮も大雨被害 土砂崩れ欄干ごと参道崩落	令和7年8月13日 令和7年8月14日 令和7年8月14日	朝日新聞 経済新聞 毎日新聞
沖ノ島上級検定答え合わせ講座	令和7年8月26日	西日本新聞
沖ノ島洋上参拝参加者募集宗像観光協会来月からツアー	令和7年8月28日	毎日新聞
赤間宿キッズ縁日	令和7年9月29日	毎日新聞
女神の船団玄界灘渡る「みあれ祭」 色鮮やか漁船団玄界灘パレード宗像大社「みあれ祭」 大船団女神と共に「みあれ祭」 神様と疾走「みあれ祭」 100の船団女神運ぶ宗像「みあれ祭」見物客を魅了 みあれ祭出発の神事中津宮	令和7年10月2日 令和7年10月2日 令和7年10月2日 令和7年10月2日 令和7年10月2日 令和7年10月2日	読売新聞 西日本新聞 毎日新聞 毎日新聞 毎日新聞 毎日新聞
「いしのうた」音と時にふれてみて宗像大社など20日までアートイベント	令和7年10月11日	朝日新聞
宗像で新作能「みあれ」海を守る三女神の祈り題材	令和7年11月14日	毎日新聞
20251210宗像サーモン道の駅で販売毎週金一日曜	令和7年12月19日	西日本新聞
沖ノ島の鉄矛に象眼の文様2025年の九州・山口担当記者が振り返る	令和7年12月19日	毎日新聞
宗像大社で豆まき準備 福は内 願い込め宗像大社	令和8年1月26日 令和8年1月28日	西日本新聞 朝日新聞
巫女らバケツリレーで初期消火	令和8年1月29日	毎日新聞
22・23日 唐津街道赤間宿まつり	令和8年2月21日	毎日新聞
世界遺産「神宿る島」・沖ノ島の写真集出版	令和8年2月24日	毎日新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
各種事業が新聞等に掲載されたことで歴史的まちづくりの周知につながった。特に、歴史文化の普及と観光促進を図る「みあれ祭」の取組みは複数紙で紹介され、関心の高さがうかがえる。 令和7年度 報道掲載件数:20件		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし		
状況を示す写真や資料等		
著作権保護のため、新聞記事は掲載していません		

評価軸⑥-1  
その他(効果等)

評価対象年度

令和7年度

項目

住民の意識と観光振興

計画に記載している内容  
本市が有する多数の歴史文化資産の魅力や価値を再認識し、それらを守り、まちづくりに活かしながら、都市の個性と魅力に磨きをかけ、ふるさと宗像への誇りと愛着を一層確かなものにするるとともに新たな文化を生み出し、これらを地域の活性化や観光の振興につなげることなどにより、まちを躍動させることが求められている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

- 【歴史文化資産の魅力や価値を再認識し、それらを守り、まちづくりに活かす】
- ①は、90%以上ととても高い割合で推移している。
  - ②は、H29の世界遺産登録後、大きく減少したが、その後は、微増傾向で推移している。
  - ③は、世界遺産登録後は、小幅な増減を繰り返しながら、概ね横ばいで推移している。
- 【ふるさと宗像への誇りと愛着を一層確かなものにする】
- ④は、65%程度の高い割合で推移している。R5と比べ、旧玄海・大島地域で約22%大きく増加した。
- 【地域の活性化や観光の振興につなげる】
- ⑤は、コロナ禍でやや減少し、近年は横ばいであったがR6では、やや増加した。40-64歳の年代で、満足度が比較的高い。
  - ⑥は、コロナ禍でも減少せず、増減を繰り返していたが近年、減少傾向がみられる。
- 「参拝者・利用者数」は、コロナ禍で減少したが、回復傾向にあり、道の駅、中津宮ではコロナ禍前を上回る水準となっている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

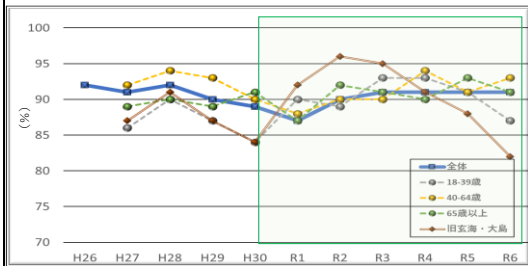
各指標については、世界遺産登録前のH27年からH30年頃と比較すると一部指標に回復の傾向が見られるものの、依然として低い水準に留まっている指標もあることから、本計画の各種事業を通じてさらなる歴史まちづくりの推進を図ることなどで従前の水準を目指す。

状況を示す写真や資料等

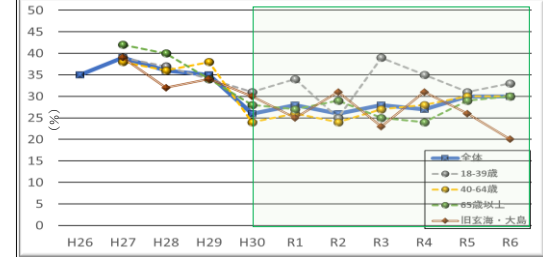
◆住民意識(市民アンケート)

本計画期間

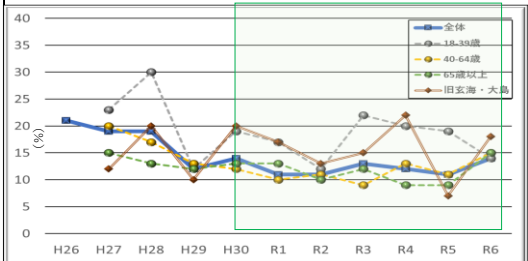
①自然景観を貴重な財産だと感じている割合



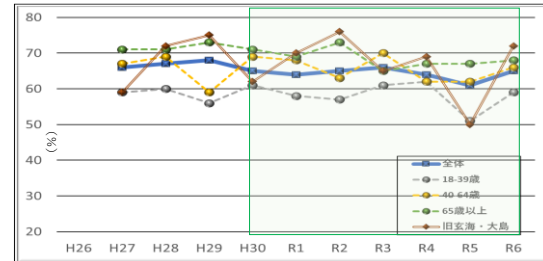
②世界遺産と歴史文化の保存と活用についての満足



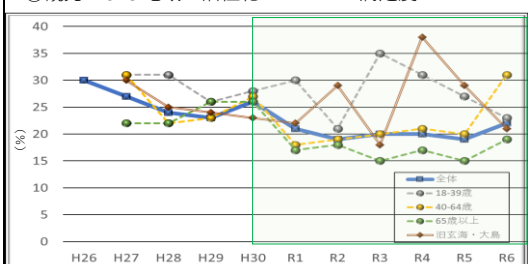
③資源を活かした島の活性化についての満足度



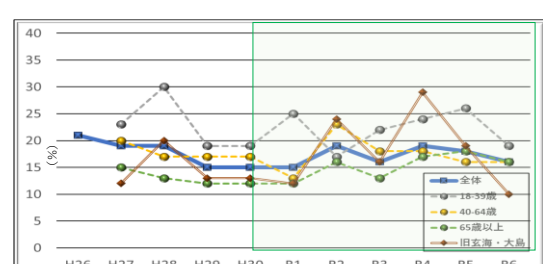
④宗像の歴史や歴史遺産に誇りや愛着を感じている割合



⑤観光による地域の活性化についての満足度



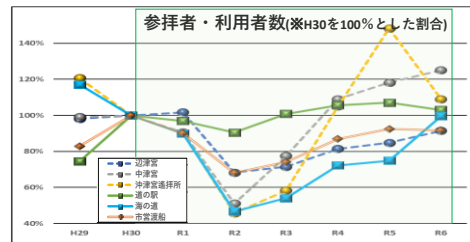
⑥地域産業の活性化についての満足度



◆観光振興等 宗像大社(辺津宮・中津宮・沖津宮遙拝所)参拝者数、観光施設利用者数(道の駅むなかた、海の道むなかた、市営渡船)

(単位:人)

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
宗像大社辺津宮	841,105	857,027	871,683	584,275	612,618	697,476	726,332	784,062
宗像大社中津宮	33,272	33,593	30,417	17,155	26,016	36,622	39,699	42,000
宗像大社沖津宮遙拝所	39,595	32,798	29,540	14,997	19,114	34,437	48,650	35,767
道の駅むなかた	1,218,873	1,638,040	1,587,318	1,481,042	1,651,902	1,729,403	1,753,007	1,686,804
海の道むなかた館	181,692	155,135	139,497	72,541	83,822	112,041	116,176	154,313
市営渡船	196,752	237,450	214,029	161,585	175,994	206,133	219,356	217,770



評価対象年度	令和7年度
法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 令和7年度第1回宗像市歴史的風致維持向上計画推進協議会	
会議等の開催日時: 令和8年2月19日 午後2時	
(コメントの概要)	
<p><b>【評価軸③-6】</b> 無形民俗文化財調査支援等事業</p> <p><b>【評価軸④-3】</b> 文化財に関する普及・啓発の取組</p> <p>・今年度は大型商業施設での啓発活動ができなかったとのことだが、今後、地区外からの参加者を増やしていくためには、市内のイベントでの啓発活動の実施も検討していただきたい。地区外から継続して参加していただくためには、近い距離にお住まいということや、市内に住んでいるというアイデンティティ、知り合いがいるということが重要であると考えます。</p>	
(今後の対応方針)	
<p><b>【評価軸③-6】 【評価軸④-3】</b></p> <p>・商業施設の計画活動やイベントまではできなかったが、今年度は、ビラ配り、簡単な空きスペースを活用し展示を実施した。今後も、実施、継続していく。</p>	